臺灣日日新報
本日四頁

英米の商船各一隻撃沈

【リスボン六日發同盟】ワシントン來電に依れば米海軍はカリブ海において中米商船及び小型英商船各一隻が樞軸國潜水艦の攻撃を受けて沈没した旨六日發表した

けふ第六回大詔奉戴日

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕カ衆庶ハ各〻其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑〻東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ丕顯ナル皇祖考丕承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト釁端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提攜スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ牆ニ相鬩クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス剰ヘ與國ヲ誘ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ增强シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ回復セシメムトシ隱忍久シキニ彌リタルモ彼ハ毫モ交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ益〻經濟上軍事上ノ脅威ヲ增大シ以テ我ヲ屈從セシメムトス斯ノ如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衞ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ

皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御名御璽

昭和十六年十二月八日

各國務大臣副署

敵の俘虜三十四萬二千人
南方占領地の建設大進捗
赫々たる帝國陸軍綜合戰果

【東京電話】帝國陸軍部隊は寺内南方軍最高指揮官を總帥として山下マレー、本間比島、今村蘭印、飯田ビルマ、酒井香港、前田ボルネオ各方面最高指揮官等の赫々たる武勳により大東亞戰爭開始以來僅に六ケ月にして英、米、蘭、支の東亞における陸上兵力の殆どを撃破し南方各要域を大東亞共榮圏の傘下に收め、必勝不敗の態勢を確立したが、大本營では帝國陸軍部隊がこの六ケ月間に收めた綜合戰果並びに南方占領地の建設狀況につき七日左の如く發表した

大本營發表（昭和十七年六月七日午後四時）大東亞戰爭開始以來六ケ月間（五月三十一日まで）に收めた帝國陸軍の綜合戰果及びわが方の損害並びに占領地の現況左の如し

一、綜合戰果（交戰せる敵兵並びに敵に與へたる損害）

支那作戰（香港攻略を含まず）

方面	交戰兵力	敵に與へたる損害 遺棄死體	俘虜	合計
【北支】	約九〇〇、〇〇〇	約三六、三〇〇	約三三、〇〇〇	約六九、三〇〇
【中支】	約五八〇、〇〇〇	約三三、六〇〇	約一〇、〇〇〇	約四三、六〇〇
【南支】	約五〇、〇〇〇	約二、五〇〇	約一、〇〇〇	約三、五〇〇
【合計】	約一、五三〇、〇〇〇	約七二、四〇〇	約四四、〇〇〇	約一一六、四〇〇

南方作戰

方面	交戰兵力	撃滅せる兵力 兵團數	內譯
【香港】	約一五、〇〇〇	約一ケ師	ローソン旅團、ウォーリス旅團（英、カナダ、印度兵）
【ヒリッピン】	約一〇〇、〇〇〇	約十一ケ師	米第一軍團、ヒリッピン軍團[illegible]
【マレー】	約一二〇、〇〇〇	約六ケ師半	英第十八師團、濠洲第八師團[illegible]
【蘭印】	約一三〇、〇〇〇	約四ケ師	[illegible]
【ビルマ】	約一五〇、〇〇〇	約十三ケ師	[illegible]
【合計】	約五〇五、〇〇〇	約三十五ケ師半	

俘虜【米軍】二五、〇〇〇【英軍】六四、〇〇〇（内カナダ兵一、六〇〇、濠洲兵二二、〇〇〇を含む）【蘭軍】二四、〇〇〇【重慶軍】四四、〇〇〇【その他】一八五、〇〇〇（ビルマにおける重慶軍の俘虜及び國籍未調査のものを含み、内印度ネシア兵一〇〇、〇〇〇は殆んど解放せり）【合計】三四二、〇〇〇

鹵獲兵器その他 △火砲三、七六三門 △戰車一、四四〇輛 △自動車二一、五八九輛 △飛行機二四〇機 △擊墜破せる飛行機一、六三六機（內不確實二四一機）△小銃二二、五四八挺 △機關車[illegible] 客貨車二一、二〇〇輛 △船舶四八隻十二萬七千噸 △外に小舟艇二一九九隻

擊沈せる船舶並びに艦艇【擊沈】砲艦一、淸水艦一、魚雷艇一、汽船四一【大破】巡洋艦一、驅逐艦三、掃海艇三、淸水艦一、魚雷艇九、汽船四六

我方の損害 △戰死九、一七四 △戰傷二〇、七二〇 △合計二九、八九四 △飛行機三四八 △船舶二二隻（約十六萬噸）

二、陸軍部隊南方占領地の現況

地名	面積（方粁）	我が領土との比較	人口（萬）	建設進捗の狀況
【香港】	一、〇〇〇	佐渡と岩手を合せたるものより稍々大	一〇五	占領地總督府を置き[illegible]
【ヒリッピン】	三〇〇、〇〇〇	本州、四國、九州を合せたるものに同じ	一、六〇〇	軍政を施行し[illegible]
【マレー】	一三一、〇〇〇	本州より奥羽地方を除きたるものに同じ	五三〇	軍政を施行、[illegible]
【ビルマ】	六〇〇、〇〇〇	略々日本全土と同じ	一、五〇〇	軍政を施行、中央行政機關の[illegible]
【ジャバ島】	一三二、〇〇〇	本州より東北[illegible]略々同じ	四、一七〇	[illegible]
【スマトラ島】	四三六、〇〇〇	略々本州と朝鮮を合せたるものに同じ	七九八	軍政を施行、[illegible]
【ボルネオ島その他】	八三〇、五三〇	日本全土の一・二倍強	六四四	行政機關の[illegible]
【合計】	[illegible]	日本全土の三・七倍強	九、三八八	

南方大進軍の跡顧る

【東京發同盟】昨年十二月八日米英に對し宣戰の大詔渙發せられてより早くも半歳、東亞における米英蘭の諸植民地はその悉く皇軍精鋭部隊に席捲され[illegible]ここに全く潰え去り、大東亞における彼我の戰略態勢は一變して決定的優位となり今後の新しき長期戰への飛躍的進歩を確保すると共にこの作戰において我軍は南方重要資源の大部分を手中に收めた、この占領地域には軍政を布き優秀有能な司政長官並に司政官を多數派遣して早くも占領地建設の緒に就かしめつつある、今米英蘭の所謂南方大進軍の跡を回想に追つて見よう

支那方面 開戰と共に天津、上海、廣東の敵租界を接收し上海においては米砲艦一隻を拿捕、英砲艦一隻を撃沈し一方北中南支各地に亘り重慶軍撃滅の先手を打ち掃蕩戰を行つた

香港方面 香港要塞攻略部隊は十二月八日午前三時四十分深圳南方國境を突破同夜香港要塞の本防禦線攻略に着手猛攻を續行、十二日には一擧に香港島を睨破する態勢を整へた、翌十三日、十七日の二回に亘つて軍使を派遣し降伏を勸告したが聽ぜず十八日夜に攻撃の砲門を開くと共に同夜九時五十分敵前上陸に成功、十九日[illegible]日早朝より[illegible]敵陣に[illegible]攻を重ね遂に二十五日午後五時五十分[illegible]無條件降伏しわが軍は同要塞を完全に占領した同時に香港方面陸軍最高指揮官は酒井隆中將と發表された

比島方面 陸軍部隊は十日未明ルソン島北部ヴイガン方面に第一回の上陸を敢行して成功次で南部レガスピー方面にも奇襲上陸同島南北兩方面に進撃態勢を確保したが、廿二日わが精鋭主力は突如ルソン島西北部リンガエン灣に上陸して南下と共にこれに呼應二十四日他の主力部隊はラモン灣に上陸して北上三十一日には南北兩部隊はマニラ市を完全に包圍、一月二日朝來總攻撃を開始同日午後三時遂に首都マニラを完全に占領、十萬餘の米比聯合軍を諸所に撃破し殘敵をバタアン半島及びコレヒドール要塞に追込み包圍態勢を取つた、一方十二月二十日未明ミンダナオ島にも上陸し同日午後五時早くもダバオ市を完全に占領、在留邦人一萬八千餘名を救出した、かくてダバオの確保と相俟ちマニラ攻略に依りて比島主作戰に一應の終止符を打つに至つた、ルソン島に於ては依然一部兵力をもつてバタアン半島方面の敵に對し封鎖の作戰を取りこれに當つた部隊は一月二十六日バランガ市ナチブ山を繞ぐバタアン北半の敵主抵抗線を陷し同日ナチブ山以北を掌握し敵は僅にマリベレス要塞とコレヒドール島の最後の抵抗線に據ることとなつた、わが方はバタアンに集結し得る最大限の兵力と近代兵器の粋を集中し四月三日午前九時を期して總攻撃の火蓋を切つた、また航空部隊は[illegible]を反復八日には敵最後の抵抗線リマイ市を完全占領引續いて九日マリベレスを奪取、總攻撃開始以來僅八日にしてバタアンの敵軍を撃滅した「コレヒドール陥落」最後の逃げ場コレヒドール要塞に立籠る米比軍に對しては五月五日夜午の節句を期して猛烈な上陸を決行した、脱出の望み全く斷たれた敵全軍は大混亂に陥り七日午前八時遂にコレヒドール要塞及び附近の全要塞を完全に攻略したマニラ陥落以來實に四ケ月これでわが比島攻略作戰は所期の目的を達成し同方面陸軍最高指揮官は本間雅晴中將と發表された

マレー方面 マレー方面陸軍最高指揮官山下奉文中將麾下の精鋭が忽ちシンゴラに上陸したのは昨年十二月八日午前四時十二分であつた、この主力上陸に次でパタニ及びマレー東岸の要衝コタバルに敵前上陸を敢行、その一部は大膽な夜襲戰をもつてジットラ・ラインを突破しマレー縦貫鐵道に沿つて南進コタバルに上陸した、東岸部隊はクランタン、トレンガヌ兩州の海岸沿ひに南下シンガポール要塞目ざして進撃したマレー半島の攻略戰が戰史稀に見る大成功裡に進展したのはわが軍の機械化装備の優秀性と空軍部隊との連繋が極めて良く奏功[illegible]作戰を行つたからである、[illegible]五十五日にして千二百粁の全マレー半島を席捲したのは支那事變に於いてその神速振りを謳はれた漢口攻略戰を遙かに凌ぐまた西歐作戰をもつて鳴るドイツ軍の東部戰線に於ける進撃記録一日十九粁をも凌ぐマレー進撃軍の平均二十粁の神速さに遠く及ばない、しかもマレー戰線は炎熱百二十餘度の熱帶のジャングル戰場であり敵に破壊された大小二百五十餘の橋梁を修理しつつ進撃したのである。主要戰は前後を通じて九十二回に及び一日平均二回の激戰を重ねたことになる、特に三十一日ペラ州のルムトを確保した西岸進撃部隊が南進する主力に相呼應し突如背後作戰に轉じマラッカ海峽を南下した[illegible]大隊の新作戰がシンガポール要塞攻撃態勢の確立に大いに役立つたことを銘記すべきである「シンガポール」攻略 わが猛攻の前にはシ港の天然の要害も人工の防備も遂に何の敵でなかつたわが軍は[illegible]の大舟艇、間髪を入れざる砲陣の進撃下にジョホール・バルよりシ島の敵前强行渡過に成功し二月九日午前零時その一角を確保して大要塞攻略の總進撃に移り早くも十五日午後七時五十分シンガポール島要塞の敵軍を無條件降伏せしめパーシバル英東亞軍司令官以下九萬五千名を俘虜とした、シンガポールは其後名も昭南と改め與へられて東亞共榮圏の一環として更生、ここにマレー建設の大使命は開始されたのである

ビルマ方面 ビルマ方面陸軍最高指揮官飯田祥二郎中將麾下の精鋭がビルマ南部の要衝モールメン及びタヴオイに進撃を開始したのは一月中旬であつた、この進撃に引續き[illegible]タイ國も米英宣戰布告を發し一齊にビルマ進撃を開始したことはビルマ作戰の特色である、ビルマ作戰軍は峻々たる山系を突破し一大山岳戰を展開しつつ超人的强行軍を續けて三月八日には早くも首都ラングーンを完全に占領した、當時重慶軍主力はマンダレー附近に集結を始め北部タイ國境には三個師團を配し、わが軍の側背を脅威せんとする態勢を取つたので、わが軍は深更にこの敵を無視する如き進路を取り重慶軍に側背を暴露してラングーンを北方から攻略し重慶軍誘出の戰法を取つた、果せるかな重慶軍はわが術策に陥り皇軍の兵力を過小評價し[illegible]にマンダレー南方に進撃し來り三月中旬には重慶軍を主力とする四萬五千はラングーン、マンダレー本道上に英印・ビルマ聯合軍はイラワヂ河の流域に布陣した、そこでわが軍はサルウイン河とイラワヂ河に沿ふ鐵道とビルマ縦道に沿ふ中央進撃部隊の三方面より敵の北進を誘ひ始サルウイン河に沿つて北進した右翼部隊は峻嶮な山岳地帯を踏破して迂回作戰に出で四月二十九日には早くも要衝ラシオを押へ、他方左翼部隊は遠く印度ビルマ國境の要衝アキャブ飛行場を初めカレワを確保し、五月一日中央進撃軍がマンダレーに於て一日七十粁といふ神速進撃に移るやこれと呼應して進撃目標を北部ビルマの要衝ミイトキーナに取り右翼部隊[illegible]五月五日には援蔣ルートを突破して[illegible]を占領し十日には怒江右岸の陣地を確保して重慶軍の退路を完全に切斷し重慶軍を全く孤立に陥らしめた、かくて全ビルマを平定した

蘭印方面 ボルネオ方面は昨年十二月十六日未明わが精鋭部隊は英領ボルネオのミリ、ルトン、セリア、クチン三方面の上陸に成功し瞬く間にブルネイ、クチンを占領し上陸以來僅十六日にして全英ボルネオを制壓したが、更に歩を蘭領に伸し坂口兵團主力はホロ島攻略部隊と合して一月十一日タラカン附近に奇襲上陸[illegible]大東亞戰初の蘭印軍との戰闘を交へ遂に十二日タラカンを占領、更に南下してバリックパパン、バンジェルマシンを完全に占領他の一隊は一月二十七日西部の要衝ペマンカットに奇襲上陸、一部を以てサンバスを攻略すると共に主力は[illegible]を以て首都ポンチヤナツク附近に上陸僅二日で一月二十九日ポンチヤナツクを占領、ボルネオ全島の平定は遂げられた

スマトラ島—シンガポール陥落に先立ち二月十四日スマトラ島の要衝パレンバンの油田地帯には[illegible]部隊が初陣の雄姿を現はし十五日ムシ河を遡江進撃した地上部隊と協力十七日パレンバンを完全に占領、ジャバ島への咽喉タンジュンカランを初めラハト、コタアグン、ベンクレーン、ジャンビーなどを相次いで攻略し、一隊は二月十五日バンカ島ムントクに上陸しバンカ海峽を扼した、三月十二日以來各地に掃蕩戰を強行したが三月十七日に至り蘭印スマトラ總指揮官オブビアーカー少將は全面的に降伏、ここにスマトラ全島の平定は成つた

ジャバ島 陸軍部隊は二月十九日バリ島に上陸東西からジャバ島挾撃態勢を完成し今村最高指揮官麾下の精鋭は三月一日[illegible]灣バトロール附近、クラガン附近の三箇所に敵前上陸を敢行、坂口兵團は[illegible]上陸後より[illegible]東部ケラガンに上陸三月七日早くもスラバヤに突入し主力はレンバン、スラカルタを衝きジョクジャカルタを抜いてチラチャツプを攻略西部[illegible]灣に上陸せる部隊は二隊に分れ三月五日首都バタビヤを衝いで要衝バイテンゾルグを攻略、バタビヤ攻略部隊及びベトロール上陸部隊と相呼應し敵主力をズラバヤ、バンドンの兩地に包圍し猛攻を加へた、敵は三月九日遂に白旗を掲げてわが軍に降伏し來り上陸後僅九日にしてジャバ全島はわが軍門に降つたのである

泰軍、ミュウ市占領

【バンコック七日發同盟】六日夜のタイ國ラジオ放送によればタイ國軍は六月二日午後ケンタン東方百七十四粁のミュウ市を占領したと、ミュウ市はケンタン及びヨン兩市に次ぐ南部シャン・ステートの要衝でケンタン州都の所在地ミュウ河に臨み同州交通の中心地である

第三戰區の主力潰滅
江南方面敵軍も大動搖

【浙贛前線〇〇六日發同盟】我軍は[illegible]を渉して[illegible]四日遂に衢州周邊の殘敵を撃滅し、衢州城を攻略したが、本會戰はこの金剛會戰に匹敵すべき重大意義を有し軍事的、政治的、經濟的に敵第三戰區の死命を制したのみならず重慶政權そのものに重大打撃を與へたものと云ふことが出來る、即ち敵は今次作戰の目的を金華、蘭谿の占領にありと誤認し斯かる大進撃を全く豫想してゐなかつたが我軍は長驅四百粁遂く浙贛平地に突入し敵第三戰區の敵主力及び第九戰區より急遽南下せる第二十六軍その他を一擧に撃滅し去り今更ながら敵を恐怖狼狽せしめてをり[illegible]ながら敵を[illegible]せしめてをり金華、蘭谿の敗退により自國指導の失策を自覺し重慶側が今次衢州敗退後如何なる處置に出るか蓋し見物であらう、わが衢州占領は第三戰區の心臓部に匕首を突き立てたものである、[illegible]たもので江南方面の中央直系軍第四川軍雲南軍その他合計十數箇師の敵軍も背後に直接脅威を受けて動搖を來しつつあり、衢州攻略が敵軍に與へる影響は甚大なるものがある

て敵が金華の死守を鳴物入りで宣傳してゐた當時既に衢州攻略の[illegible]

攻略成る迄

【浙贛前線六日發同盟】金蘭會戰より衢州攻略までの作戰經過次の如し

わが金蘭攻略に際し敵[illegible]司令官は[illegible]約十個師を[illegible]金蘭死守を命ぜられてゐたがわが猛撃に恐れて得意の退避戰術に出でんとしたが、我軍は金蘭攻略を急がず攻にこれを囮として敵を誘致し主力部隊は一擧に金華、蘭谿附近を通過して西方に大追撃に移り金華攻略成つて二十八日には早くもその西方五十粁の龍游を手中に收め勢を整へてゐた、然も敵はわが追撃部隊の兵力を過少なりと誤信し[illegible]わが兩側の山谿地區より側擊を企圖したがこの時わが精鋭の大兵團は既に江南岸を西に飛ぶ勢ひで猛進、敵に退路の餘地を與へず六月一日には悉くこれを撃散らして[illegible]北の線に轡を並べて進出した、更に南岸部隊は六月二日[illegible]の[illegible]山溪において金華蘭谿逃亡兵をせつけた敵第八十六軍の出撃を迎へて大打撃を與へてゐる、斯くて三日夕刻衢州城包圍の態勢は完全に成りわが[illegible]の攻撃は三日拂曉を期して開始し四日にしてこれを攻略するに至つたのである

同盟通信臺北支局支社に昇格

同盟通信社臺北支局は六月一日附で支社に昇格し前支局長[illegible]氏が支社長となつた

敵卅五箇師團撃滅
重要資源共榮圏傘下へ

【東京發同盟】米英蘭支の大[illegible]下つてここに半歳、この間帝國陸軍部隊は支那に於ける[illegible]を初め、香港、マレー、蘭印、ヒリッピン、ビルマにあつた[illegible]軍、[illegible]の陸上兵力を撃破し南方要域に於ける九千三百六十餘萬の東亞諸民族を米英の[illegible]から解放すると共に日本全土の三・七倍以上に及ぶ南方占領地域の重要資源の殆どを大東亞共榮圏下に收め、印度、濠洲、[illegible]を脅威する[illegible]な戰略態勢を確立したわが陸軍は、[illegible]大東亞防衛の基盤となり支那事變に於いてその實力を遺憾なく發揮して米英勢力[illegible]の素地を築き今次大東亞戰爭に依る南方作戰に依つてここに大東亞防衛の[illegible]を完成した、大本營發表の綜合戰果に依つて[illegible]

島市の人口に匹敵する三十四萬二千名を[illegible]としてゐる、これを更に作戰方面別に見れば

ビルマ方面軍（飯田中將）が十三箇師團

ヒリッピン方面軍（本間中將）が十一箇師團

マレー方面軍（山下中將）が六箇師團半

蘭印方面軍（今村中將）が四箇師團

香港作戰軍（酒井中將）が一箇師團

を各個に撃破してをり[illegible]

鹵獲兵器 火砲三、七六三門 戰車一、四四〇輛 自動車二一、五八九輛 [illegible]

小舟艇二一九九隻を[illegible]

[illegible]

大東亞戰爭完遂へ
實費の保險
千代田生命
相互組織

ぜんそくに
頓服で効く
本劑に二種の特效な植物より抽出せる局貝藥にして一はセキを止め一はタンを溶解する作用がある。又補佐藥としてカンフル劑を合理的に配合してあるから、困つた慢性持病の人に最もよい。しかも中毒や習慣性がない
定價 一圓、二圓、五圓
東京市下谷區[illegible]
本舗 柴崎製藥所
全國藥店にて販賣す
ひろ喘息藥

六月號
現代
◇座談會◇
文化戰の方途（出席者）
吉田三郎 郡司喜一 松村武雄 不破祐俊 伏見猛彌
文藝復興の傾向 保田與重郎
新建設科學の性格 荒木俊馬
比島文化戰の現實 木村毅
大東亞宗教論 一郎
アメリカの北方作戰 大塚[illegible]
革新議會を行く座談會
皇道哲學の原理 佐藤通次
スメラ世界維新大綱 仲小路彰
金融統制會と産業統制會 高島佐一郎
歐洲の新情勢 永田一角
バタアン籠城記 前戰[illegible] 石澤豊
謎のニューギニア 鈴木[illegible]
壯烈園田戰車部隊長 尼崎士郎
蟬脫 新生 吉川英治
創作
堂々一百枚に亙る、躍進日本の記念詩的力作！
昭和國民史 緒方久
價八十錢 送料三錢 大日本雄辯會講談社

〔新世界文學全集〕第二十回配本（全二十四卷）定價二・八〇
ジル・ブラス物語（Ⅰ）
內容見本進呈
〔バルザック全集〕第十四回配本（全十六卷）定價二・三〇
現代史の裏面
バルザック晩年の心境を語るこの小說はあらゆる人間感情が劇的に交錯しことにルイ十八世を狙上にして權力者の奸智を暴露してゐる。（和田顯太郎譯）
〔附〕・無神論者の彌撒（秋田滋譯）・市原豐太譯
〔三代名作全集〕第十三回配本（全二十三卷）定價二・五〇
里見弴集
內容見本進呈
小山いと子著（書き下し長篇小說）定價一・八〇
地軸
東京市日本橋區通三ノ二
振替東京一〇八〇二
河出書房

第四卷內容
牧野信一集
梶井基次郎集
嘉村礒多集
北條民雄集
新日本文學全集
第四卷（第十五回配本）
一冊一圓五十錢 送料十五錢
東京市芝區新橋七
振替東京八四〇二
改造社

情報局陸軍大佐 松村秀逸氏 東京日々新聞社副主幹 吉岡文六氏 推薦・中地清著
小說 みなみ（南）
B六判・三四四頁 定價二・九〇 〒・一五
南方經濟研究會編（地圖寫眞多數入）
南方開發の手引
定價一・〇〇 〒〇・一〇
川口松太郎著
小說 蘇州の夜
B六判・三〇七頁 定價一圓五〇錢 〒一五
東京市神田區神保町二ノ一五
矢貴書店

社説

"必謹"を誓つて正に半歲

親切運動に必要な心の餘裕

一

あれ以來、僅かに半年である。それは云ふまでもなく昨年十二月八日勃發の大東亞戰以後のことである。卽ち大詔を拜し、國民が、"承詔必謹"の誓ひを固めてから正に半歲を經たのみだが、この半歲といふ期間は何といふ驚くべき[illegible]

[illegible]る日本人の閃きが如實に顯現されてゐるだらうか。[illegible]とか[illegible]引とかに狂奔し、己れや自我のことだけしか考へないといふ[illegible]しむべき在來思想が、果して完全に根を絕つてゐるだらうか。[illegible]反省思慮すべきである。己れを忘れ切れぬところに[illegible]自由主義的觀念が潛んでゐるのだ。[illegible]めいく自己省察に依て、心中に巣喰う反日本的なものを[illegible]し、みそぎをして神前にひれ伏し、この[illegible]一人殘らず[illegible]に[illegible]りたいものである。

三

尙六月の今[illegible]年[illegible]の夕に[illegible]として取入れられてゐる"親切運動"に就ては特に此の場合一言したく思ふ。この親切運動が何人に依て最も多く反省思慮されねばならぬかは問題外であつて、恐らく[illegible]としては六百萬人が[illegible]しく親切であり、ニコニコしてゐることを[illegible]してゐるであらう。[illegible]この親切運動の提唱は、或は過去において不親切であつた人々の[illegible]にだけは特に强く響くかも知れない。物資の配給等に從うて來たもの、[illegible]に[illegible]して來たもの、各種の[illegible]工場での他各種[illegible]の仕事に從つて來た人々、又は[illegible]の民衆を相手として官公吏に至るまで[illegible]は非常に[illegible]いと考へる。同じ[illegible]の仕事でも[illegible]において[illegible]にすべきであり、[illegible]上とも[illegible]には[illegible]であるといふ口實だけで不親切で良いといふ[illegible]は出て來ないのである。[illegible]にいふ、[illegible]化に伴うて特に忙しくなり、又は時間的にも精神的にも餘裕の少くなつてゐる[illegible]の人々は特にこの[illegible]に於て親切であるといふ心の餘裕を持ち續けて欲しく思ふものである。

水田の外は皆塹壕

墓場をトーチカに急造

陷落直前　衢州を空から見る

【中支○○基地六日發同盟】[illegible]は六日朝陷落寸前の衢州上空に飛び[illegible]の衢州[illegible]を空から見た、[illegible]突かと思ふその瞬間[illegible]して[illegible]に飛行した、[illegible]と正にトーチカ[illegible]降下だ、[illegible]物凄い[illegible]が上る、[illegible]はさうと上しから[illegible]その[illegible]のあとを追ふやうに地上[illegible]部隊が十メートル、二十メートルと前進して[illegible]は[illegible]て行く、[illegible]城内から[illegible]が上つた、めらめらと燃え上る[illegible]つた[illegible]ないとして[illegible]の已むなきに至つた[illegible]

臺拓の倍額增資

けふ現物評價委員官制公布

[illegible]

激戰を豫想

臺南の商議戰

[illegible]

自動車と部分品

商工省で配給機構一元化

【東京發同盟】自動車及び同部分品の配給は[illegible]配給機構を通じて行はれてゐたが商工省では[illegible]の向上を計るため[illegible]部門を[illegible]上分離して[illegible]として[illegible]配給機構を一元化することとなり六日[illegible]

愈よけふから發賣

割增金附郵便貯金切手

[illegible]

石鹼配給機構整備

商工省次官名で要綱通達

【東京發同盟】商工省では石鹼の配給を[illegible]するため[illegible]することとなり六日[illegible]

增產の敵浮塵子

農林省農試防除法發表

【東京發同盟】食糧增產確保に[illegible]の防除は[illegible]最も[illegible]を要する所で特に今後浮塵子の發生は充分の[illegible]を[illegible]つてはならぬが[illegible]日農林省農事試驗場[illegible]技師は[illegible]代、本田を通しての浮塵子の防除法につき左の如く語る

[illegible]

新竹手形交換所

愈々近く開設と決定

【新竹電話】新竹市には從來銀行間の正式な手形交換所がなく[illegible]

臺糖の陣容刷新

休職幹部社員四名解職

[illegible]

佛印ゴムの將來性

舊蘭印より有望視さる

[illegible]

熟練工激減に惱む

米國で戰時勞働力動員

【東京發同盟】[illegible]

島內現株相場

	拂込	中値
臺銀株	一〇〇・〇	一二八・八
同　新	一〇〇・〇	一一七・〇
彰銀	五〇・〇	九三・四
同　新	一二・五	一七・八
三和銀	五〇・〇	七三・五
同　新	一二・五	三五・七
同　二新	[illegible]	一八・七
臺工銀	五〇・〇	五〇・〇
同　新	三七・五	三七・五
同　二新	一二・五	一二・七
彰化銀	五〇・〇	四八・五

[illegible]

經濟全分野に進出

ビルマ華僑を解剖する

もとは支那に隷屬

【東京發同盟】ビルマと支那は[illegible]であるから兩國人民の交通は[illegible]

華僑の數と出身地

[illegible]

ビルマ人が嫌ふ

[illegible]

抗日的性格を露呈

[illegible]

治せ　肺病　ろくまく
微熱　せき　痰を忘れ
[illegible]
無代進呈
東京市小石川區西原町二ノ五　むさし製藥本舖
ムサシゲン錠

痛み・疲れ
サロメチール
效き目が早くて貼る手間も不快さもなく…使用が簡便でお徳用なのが特長。

急性淋疾　慢性淋疾
短期止痛、止膿、消炎
迅速に奏効し、短期に治療に導く。
有効根基を最も高率に含有する高度のスルフオンアミド劑
ザオキン

英國は印度を、如何に搾取し、如何に飜弄したか？
今や大東亞戰と密接不離の關係にある印度問題は、我等同胞最大の關心事。この時多年印度にあつて彼の地の消息に通じたる四氏が、その內幕を發表せる「印度の內幕を語る座談會」こそ、正に見逃せぬ重要記事である。
讀め！「キング」六月號

『講談倶樂部』の長篇讀切り大特輯
海軍記念日に捧ぐ
花形作家木村莊十氏の特別長篇讀切熱血小說
高鳴る太平洋
更に左の二大讀切同時發表
▲現代小說　町の兵隊さん　牧野吉晴
▲時代小說　秦山とお婉　田岡典夫
「講談倶樂部」六月號　書店へお早く

實務　マレー語辭典
【最新刊】
アメリカの百面相　鈴木文史朗著
新刊　アメリカと戰爭
好評重版
櫻木書房

皮膚病藥　アスター
水虫　たむし　に
痒い皮膚病は
皮下に喰ひ入り殺滅するアスターが理想的！
シマズ・痛まず　快く痒みを止め　治りの早い新劑

キング乳劑
新強力　農藝用　殺蟲劑
强烈な研究を重ねて出來ました。
キング乳劑は同じ除蟲菊劑中でも一段進歩せる農藥である事は使つた人が異口同音に激賞。
類似品が續出してゐますが、キング乳劑は商標を確かめてからお求め下さい。
帝國除蟲菊株式會社

腸に
ビオフェルミン
BIOFERMIN

血達磨の我監視艇 敵潛水艦を撃退

默々皇國護る隊員の苦心

【東京電話】○○基地にて六日平手、名倉、羽仁田海軍報道班員發＝海の戰線には敵彈を浴びる第一線の外に監視部隊の人知れぬ祖國防衛の戰線がある、小さな漁船にも等しい○○噸の船がわが沿岸を黙々として監視し續けてゐるのだ、この監視部隊が大洋の狂瀾に挺身すれば密かにわが本土を襲撃せんとする敵のゲリラ戰も挫折するのである、去る四月十八日初めてアメリカの飛行機がわが本土を空襲した時逸早くその行動を打電したのは太平洋上の游たる監視部隊からであつた、以下は○○基地で拾つた監視部隊の活躍の斷片である

その一 二月二十四日敵機動部隊が大鳥島を砲撃した時のことであつた、同部隊の○○丸が洋上にあつた監視船は敵の集中攻撃を受け數時間に亘り[illegible]を受けて今はこれまでと見るや船長は「われ自爆せんとす七時四十分」の悲壯なる無電を打ち、更に「乘員一同決死につく、七時五十五分」といふ最後の無電を發し[illegible]

その二 三月十五日[illegible]

其の三 四月十八日太平洋上にアメリカ空母艦隊を發見した監視部隊から第一報が打電された、それから[illegible]

其の四 五月十日午前六時太平洋の洋心で哨戒中の監視艇[illegible]

大東亞の建設こそ今後に殘る大事業

齋藤南方派遣軍報道部長談

【○○基地七日發同盟】大東亞戰爭勃發以來我に幸運は續々たる戰捷で七百談話を發表しわが南方作戰は[illegible]

海征 かば海に勝ち米英[illegible]

耳朵 [illegible]

重要兵器製作功勞者表彰

嶋田海相から表彰狀授與

【東京電話】[illegible]

海軍少將	岸本鹿子治
海軍造兵少將	前原利夫
同	名和武
海軍造船大佐	片山有樹
海軍造兵大佐	成瀨正二
海軍中佐	片岡政市
海軍技師	長島秀男
同	石井欣之助
海軍技手	楠厚
海軍少將	山田清
海軍造兵少將	山田芳五郎
海軍少佐	關戸好密
海軍造兵大尉	堀健雄
海軍技師	丸石山三郎
同	中尾源吾
同	野間一良
海軍中佐	加藤良之助
海軍機關大尉	原田新

[illegible]

けふ大詔奉戴日

將兵に感謝を捧げ心引締め職域奉公

申合事項を守りませう

八日は六囘目の大詔奉戴日、大東亞戰爭勃發以來[illegible]

安藤軍司令官

門牌潭發電所を視察

[illegible]

鐵牛部隊の分列行進　マニラに於ける觀兵式にて

婦人標準服を展示

[illegible]

島都にコレラ發生

基隆市内でも一名死亡

[illegible]

飲食物に注意せよ

督府衞生課・島民に要望

[illegible]

淡水河全流域の海、河水使用を嚴禁

[illegible]

奉公班世話役の手柄

患者の早期發見に寄與

[illegible]

在泰醫學研究所擴充

邦人の爲め診療所も開設

[illegible]

本島醫學陣愈よ南方へ

[illegible]

日婦臺灣本部結成式

狀況を全島に放送

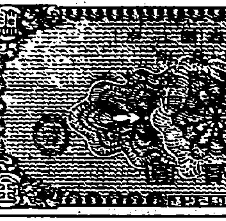
[illegible]

樋口副本部長婦人へ呼掛く

[illegible]

割増金附貯金二圓切手發賣

けふの大詔奉戴日から



[illegible]

海軍工作部事務員募集

[illegible]

全島高專相撲

高等九年度に制覇

[illegible]

全島中等武道大會

臺北中學、臺北二中優勝

[illegible]

基隆港内全域海水使用禁止

防疫

[illegible]

市社會課に專任住宅保長任命

[illegible]

療養生活

結核

自然療養社

食慾が進み、メキメキ肥る

使用は簡單 朝夕十五分

女も子供も老人も！

胃腸自力健康器

專賣特許

小住宅設計圖案懸賞募集要綱

南邦建築組合内 建友會宛

昭和十七年七月十五日

昭和十七年七月末日

臺灣日日新報紙上ニ發表

ホープライシキ

新人ノ愛品 學生ノ愛品

日本ホープ株式會社

南洋年鑑 第三回版

臺北市圓山町八六番地

財團法人 南方資料館

齒科 澤熊齒科醫院

齒科 須永齒科醫院

台湾肛門病院

御會葬御禮

臺灣拓殖株式會社

臺灣棉花株式會社

會葬御禮

吉富義雄

親戚一同

會葬御禮

田中

榎本正

榎本完

塗師尾國

和氣德三

小池金之

津田竹

俣野喜

今日の案内

萬媒

特殊潛航艇奇襲の
マダガスカル島の全貌

【東京電話】帝國海軍のインド洋作戰と共にインドの運命も除々に決したかの觀があり最も敵陣を震撼させてゐるのはイラン、イラク及びアフリカの東岸一帶である、殊に英米の援ソ路は至大の痛手に曝されたがこの意味に於いて戰略的に重要な意義を持つてゐたインド洋の西部アフリカ東岸に浮ぶ世界第四の島マダガスカル要港は遂に五月三十一日未明我が特殊潛航艇の奇襲を受けるに至つた、同島はラヴァル內閣の成立直後フランス官憲は治安工作を行ひ島內在住の英米人約四萬の內約數百名の共產分子並びに反樞軸分子を一齊に抑留してその態度を鮮明にした、マダガスカルはインド洋の西部、ポルトガル領アフリカの東岸約五百粁の海上に浮ぶ世界第四の大島でその長さ約千六百粁、幅は約六百粁もある、その人口は一九三六年の國勢調査によると三百八十萬、その內マダガスカル人は三百七十六萬、フランス人二萬五千その他の外國人一萬四千であつた、その面積は二十四萬一千平方粁、マダガスカルに住む住民はマラガシーと呼ばれるマダガスカル島人には種族が多いがその主要なるものを擧げればホヴァ族八十七萬八千、ベチレオ族五十一萬六千、ベチミサラカ五十三萬七千、タナラ族十八萬四千でアジア人としてはインド人、支那人、アラビア人等が居る、これら土着人は現在でも各々クランに分れ酋長が存在しクランの間の[illegible]は極めて稀である、マダガスカル島は古くはマルコ・ポーロに知られその後十六世紀ポルトガル人が新たに發見してローレンス島と名づけた、その後オランダ人、イギリス人等が同島の侵入に參加し一六四二年フランス領と宣言されたがフランスの植民政策はうまく行かず他國人に[illegible]けられた土着民との間に屢々紛爭を醸成した、フランスは一八八五年武力を以て同島の外交權を確保し更に一八九〇年正式にフランス保護領となつた、更に一八九六年八月六日に至つてフランス植民地と宣言したフランス政府はマダガスカル島を直轄植民地として總督を派して統治せしめその下に行政諮問委員があり本國には代議士を送らないが經濟及び財政委員會なるものありフランス人卅名、土着民廿四名からなつてゐる、この委員會は年一回開會し[illegible]一般の[illegible]にあたる、マダガスカル島の主要產業は農業でその產物は米、甘蔗、コーヒー、マニオク、煙草、玉蜀黍、カカオ、胡椒、豆類等である、牧畜も盛んで共に重要な產業で一九三六年末の家畜數は六百萬頭であつた、又島を蔽ふ森林には極めて高價な木材が多く護謨ゴム、ゴム[illegible]を產する、石炭は同島の特產で雲母、寶石類も多い

屏農、北一女優勝す
男女中等校陸上競技對抗選手權大會

【臺中電話】體協本部並に臺中州支部主催第二回全島男子中等學校第十一回全島女子中等學校陸上競技對抗選手權大會は七日午前九時から神社外苑競技場で擧行された、折柄の曇天を克服各選手とも文字通り敢鬪、男子は屏東農業、女子は北一女がそれぞれ榮冠を獲得した、尚本大會において淡水中吳君の圓盤投げ三十四米三一及び砲丸投げ十三米三九、高雄高女師澤孃の槍投四〇米八〇はともに大會新記錄を樹立した、當日の成績次の通り

△男子
一等　屏農（三六）
二等　淡中（三三、二分ノ一）
三等　長榮中（二八、九分ノ一）

△女子
一等　臺北一女（七七、三分ノ二）
二等　高雄高女（四二、五分ノ一）
三等　南二女（三五、五分ノ二）

皇軍慰問團 臺中で盛況

【臺中電話】[illegible]慰問團一行の演藝慰問隊は七日急行で來中、直に衛戍病院に到り二時半から約三時間に亙り歌謠、舞踊、漫才、浪曲、曲藝など盛澤山のプログラムで白衣の勇士を慰め更に同七時から〇〇部隊を訪れ同隊喝采を博した

[illegible]出府　園田澎湖廳總務課長は會議出席のため一日出府九日頃歸任の豫定

十日間に亙つて[illegible]された出征軍人遺族[illegible]奉仕期間には[illegible]出動して各自[illegible]を持參し眞心をこめて除草清掃作業を行つた、尚同組合は神社に奉仕するのみならず道路に並木の植栽、道路の清掃作業その他[illegible]會、[illegible]兵會、慰問會を[illegible]會する外[illegible]向上を圖るため名山[illegible]の"新築の道"を羅東街民の逍遙地たらしむべく計畫を樹立道路を[illegible]すべく[illegible]方人の意[illegible]の的となつてゐる（寫眞は羅東神社境內の除草作業）

神域の清掃二ヶ年
羅東專賣品小賣人の美擧

【羅東電話】事變以來國威宣揚と武運長久を祈願する赤子の[illegible]は益々熾烈化し郡內各地の神前には連日これら銃後の敬虔な人々の姿で埋められてゐるが羅東專賣品小賣人組合員は氏神羅東神社に武運を祈念すると同時に境內の除草奉仕作業に依り敬神の念を昂揚する一方皇民錬成に資すべく鐵石の如き堅い決意に燃え昭和十五年六月より興亞奉公日、昭和十七年一月より大詔奉戴日を選び毎月一回郡部の午前六時を期し實施し爾來今日迄滿二ヶ年續けて來た外一昨年七月、八月、九月の三回に亙る大暴風雨には神社境內の清掃および復舊作業に又今年三月十日より十九日迄

臺中陸病開廳式
きのふ盛大に擧行さる

【臺中電話】臺中陸軍病院開廳式は七日午前九時半から安藤臺中司令官、水野軍醫部長、知事、市尹をはじめ軍官民多數參列の下に執行され神官の修祓、降神の儀式に次で主なる參列者の玉串奉奠、[illegible]院長の式辭、軍司令官、知事の祝辭、[illegible]祝辭あつて十時二十分閉式、同十時半から[illegible]に場を移して[illegible]を執り行ひ祭主[illegible]を奉じ[illegible]、玉串奉奠等の[illegible]上、[illegible]それより參加して盛大に[illegible]

子供を立派に育てます
故山口二等兵夫人語る

【高雄電話】バタアン半島の戰鬪で壯烈な戰死を遂げた高雄市北野町二ノ四四石田組[illegible]故陸軍二等兵山口[illegible]は山口縣の出身、出征前は鐵道部高雄工場に勤務してゐた同君には夫人包子さんのほかに長女國民學校二年生和子さん（八つ）と長男良治さん（三つ）がある、同家を訪れると包子夫人は健氣に語つた

御召に預つたときから何時かあることとを覺悟してゐました、去る五月十日に戰地の戰友の方から戰死の模樣を知らして來ましたこの上は二人の子供を立派に育て上げ夫の遺志を繼がせます

戰死者遺族の美擧

【羅東電話】羅東街[illegible]又創三郎大郎氏は今回[illegible]して[illegible]會、軍人援護會及同街銃後奉公會に對し[illegible]として各金一封宛寄附した[illegible]で名譽の戰死を遂げ[illegible]行はれた

見事射とむ

香港の"猛虎"狩り
二百四十五ポンドの大虎

【香港支局發】これは復興きしき新生香港の赤柱半島に起つた近來には珍らしい猛虎狩りの快ニュース——五月三十日午前六時二十分頃赤柱半島[illegible]兵部隊附近の監視から突如[illegible]た一匹の大虎が飛び出し附近を立哨中の[illegible]は直ちに部隊に通報、[illegible]を知つた同隊では[illegible]兵、印度兵等四十餘名が手に手に銃を執り"ソレッ"とばかりに虎狩に出動、包圍陣を徐々に[illegible]間近に迫るや猛虎は[illegible]人家[illegible]狙いを定めてズドンと一發放てば見事頭部に命中、手負つた猛虎は猛り立ち[illegible]て躍り掛らんとする刹那、第二彈が左肩部に命中した、血を浴びた猛虎はモンドリ打つてもひるまず[illegible]に[illegible]を負はせ更に高さ七尺に[illegible]を[illegible]なく飛び越え[illegible]する[illegible]を[illegible]られた、この間約三十分間であつた[illegible]られた猛虎は[illegible]長さ七尺二寸と云ふ大虎で[illegible]重量二四五ポンド、高さ三尺二寸[illegible]港に住んでゐたものか[illegible]前である[illegible]に[illegible]た三十年前に[illegible]

學童相撲宜蘭代表

【宜蘭電話】臺北州教育會主催の學童相撲大會宜蘭市代表選手[illegible]は六日午後一時より宜蘭國民學校で[illegible]

自作農創設資金
西螺信組で融資を申請

【虎尾電話】臺南州虎尾郡西螺信用組合では時局下の食糧確保と土地改良を目差して年に二百五十名の自作農を創設すべく目下大藏省に[illegible]萬圓の低利資金斡旋方を申請中である、卽ち右の低利資金で時價一甲四千圓位の水田を購入し一人一甲宛の自作農を設立する計畫で現在年に六百圓の小作料よりも安く年約五百圓宛十五ヶ年間に償還すれば其の土地は各自の所有になると云ふ一石二鳥の名案で各方面から其の實現を待望されてゐる

新竹西瓜豐產
特殊栽培法普及

【新竹電話】新竹州の名物、夏の味覺西瓜は目下さかんに出廻つてゐるが本年は非常な豐作で三年振りの收穫成績だと云はれてゐる、殊に有名なのは矢張り竹南郡を中心とした海岸地方で本年よりは特殊栽培法を實施し好成績を擧げたので今後もこの方法を一般に普及し栽培者と共に新竹西瓜の聲價を昂揚させることになつてゐる、尚この特殊[illegible]

屏東果菜總會

【屏東電話】屏東果菜組合總會は六日午後二時より屏東信組會議室に宮本組合長の司會の下に開催、國民儀禮ののち昭和十四、五、六年度事業報告並に收支決算報告に次で規約改正および昭和十七年度收支豫算を審議、全議案滿場一致可決、同四時閉會した

苗栗奉公壯年【苗栗電話】新竹州苗栗郡奉公壯年團組織を強化[illegible]は時局に鑑み今般團の目的遂行上新に總務企畫の二部を新設

婚禮の改善
豐原壯年團講演會

【豐原電話】豐原街奉公壯年團では時局の重大性に鑑み壯年の奮起を促すべく婚禮改善講演會を五日午後八時より豐原街[illegible]で開催、西元部長以下各官衙、團體長等千餘名列席[illegible]

奉公壯年團新竹州支部けふ結成式

【新竹電話】新竹州の奉公壯年團支部結成式は八日午後一時より[illegible]し夫々部長を招いて地方[illegible]の強化促進を圖ることに決定した

軍神廣尾大尉の
頌忠祭公館校で執行

【宜蘭電話】九軍神の一人廣尾彰大尉を出せる公館國民學校（宜蘭郡員山庄）の保護者會では九軍神が布告され[illegible]第六回目の大詔奉戴日にあたる八日午後二時より同國民學校校庭で軍神廣尾大尉の頌忠祭を執行することになつた

壯丁者の體力檢査

【臺中電話】臺中市及び大屯郡下の壯丁に對する體力檢査は十日午前八時から村上國民學校で行はれる

[illegible]農務課長巡視　野本澎湖廳[illegible]は近く各島地方面初巡視を行ふ筈

赤誠の獻金

海軍武官府　六日受

國防獻金　無名氏百圓、南邦自動車會社一同五千圓、汐止街陳李氏路一圓、同王頭北二圓、同王黏氏寫橋四圓、同周氏足四圓、王萊街呂田清一十圓、合計五一二七圓

恤兵獻金　海山郡石上千世惠五十圓、臺北高田昭道五十圓、[illegible]

臺北州高女[illegible]學生徒一同百十圓、七星郡[illegible]村[illegible]二十圓、[illegible]山郡金原幸三十五圓、同[illegible]山人十錢、同林氏秀娥妹一圓、同池上[illegible]同十圓、[illegible]山郡[illegible]原榮一五圓、[illegible]里青年團[illegible]一同十一圓九十錢、[illegible]山郡大[illegible]利一郎八十五圓、[illegible]郡[illegible]村[illegible]九十名[illegible]錢、水[illegible]國民學校三年生男二組一同六圓三十一錢、合計三八四圓七一錢

九軍神遺族弔慰金　臺東郡小林寅藏十五圓

水稻多收穫
臺中州下の審査

【臺中電話】臺灣總督主催水稻多收穫競技會の臺中州下に於ける出品人は十四名で農務技士は五日來中し臺中州[illegible]技術者と共に六日右の中成績優良と認められる員林郡員林庄、南投郡名間庄と臺中市黃金水、[illegible]水の刈取狀況を七日視察した、大[illegible]山技師も五日から參出品の收穫量につき審查中である

嘉義陸病へ
銃後民の赤誠

【嘉義電話】嘉義陸軍病院の五月中における慰問狀況は慰問金三百二十二圓五十錢、慰問品二千一百件見積價格三百五十四圓四十錢、慰問演藝、映畫、劇など八件の他[illegible]組合員の理髮、時計修理、學校生徒の洗濯、婦人の[illegible]奉仕など八件あり病院でも[illegible]る銃後國民の赤誠に感激してゐる

慰問袋發送
屏東愛婦一回分

【屏東電話】愛國婦人會屏東市分會では六日正午より屏東會議室において會員により千二百個の慰問袋を作製し本年度第一回分として現地に發送した

志願兵志願者問題の打合

【新竹電話】特別志願兵志願の合格者は十五、六日頃發表の豫定となつてゐるので新竹州兵事課では合格者發表と同時に州市郡係官の參集を乞ひ合格發表に至るまでの經緯、成績、今後の方法等につき指示說明打合せを行ひ更に當該の合格者をあつめて正式入所迄の諸注意を與へた上更に一層の自覺を促すことになつてゐる

戰捷祈願燈
澎湖神社前に建立

澎湖廳では全廳民から素朴な赤誠と勤勞奉仕とに依つて澎湖神社前廣場中に一對の戰勝祈念燈を建設する筈で目下計畫中である

虎尾で大東亞戰爭慰靈法會

【虎尾電話】虎尾佛教奉公團では五日午後三時から虎尾公會堂で大東亞戰爭慰靈法會を官民參列の下に嚴かに執行した、式後講演あつて同午後四時半頃終了した

山地開發へ
新竹に高砂協會

【新竹電話】新竹州高砂族協會では財團法人への組織變更につき府に認可申請中の處この程許可されたので目下新竹地方法院に登記手續中で近く創立總會を開催することとなつた、同協會は理蕃職員並に家族及び高砂族の教化指導、授產向上を圖る目的をもつもので會長は警務部長が當り今後は山地開發事業にも積極的に乘り出すことになつてゐる

讀書

亞細亞橫斷記
滿鐵・弘報課編纂

本書は「單騎遠征錄」（福島安正）と「中央亞細亞橫斷記」（副島大郎）の二書を、滿鐵弘報課が新に編纂一冊としたものである

第一部の「單騎遠征錄」は福島中佐の獨逸から亞細亞大陸を縱斷旅行を、中佐自身の[illegible]を基として、現代文の物語風に書き改めたもので興味深い一篇、途中の難儀から、沿道の諸狀況が、中佐自作の長短の詩を交へて語られるところ、感慨深いものがある

第二部の「中央亞細亞橫斷記」はこの方面を通つた邦人としては唯一人ともいつてもよい志士副島次郎の手記を底本として、これに副島が生前語つたところの各種事蹟を書き加へ、以て伊犂、中央アジア等の詳細な民族誌と同地のいきさつを述べたものである

共に今日においても十分活用の出來る好資料として、特に亞細亞の諸國に於ける吾人の熟讀を希望する（B6判上製三六四頁一・五〇東京市京橋區銀座西七ノ六滿洲日日新聞社東京支社出版部）

特別攻擊隊
土尾賢一著

批評と紹介

"軍神九勇士の不滅の偉勳は、實に[illegible]の偉大なる力の發現されたものと云ふべく、己を空しうして[illegible]の中に[illegible]、すなはち[illegible]の中に[illegible]

[illegible]の一[illegible]であり[illegible]本書は九[illegible]の事

[illegible]神か、少年時代如何なる環境のもとに成長したか、また母親より如何なる感化を受けたかを綴つた良書（B6判假綴二二六頁、一・二〇、東京市日本橋區通三丁目八番陽堂書店）

◆日本戰爭宣言（森田出版）日本戰爭宣言、われら歴史を開く[illegible]ひの日に[illegible]、西南太平洋[illegible]す、昭南[illegible]誕生、[illegible]等の著者の烈々たる評論を收めたもの、從篇として、[illegible]大東亞戰に先立つ四ヶ月前にものした長篇評論「英米包圍陣と帝國の進路」を所載、本文四[illegible]（B6判一一四頁、一・八〇、東京日本橋區通三丁目八番陽堂書店）

◆實用マレー語會話（上原訓藏著）簡單なマレー語文法と會話を收め、附錄として、五十音引の日馬辭典を附したもの、馬來語學習者には便利である（ポケット判一九二頁一・二〇、東京市日本橋區通三丁目一ノ五文原堂）

◆シュウエー・デングレーの體驗（菅原政行譯）獨逸文藝院會員ケラーマンの力作で、幸運につきまとはれる主人公シュウエー・デングレーと、彼とは對照的な性格をもつた老藝術家ブランク、無垢なエレン母子、青年作家ボール等を配して、一九二〇年代の問題と[illegible]とを巧みに描いたもの、作者の技巧と讀者心理の巧妙な[illegible]を見るべきである（B6判紙裝二八〇頁、一・五〇、東京市麴町區小川町三ノ八白水社）

◆俳句と俳人と（[illegible]著）俳句と俳人とに就する著者の諸考察を收めたもので、非俳人の俳句、非俳人俳句、年少俳人、[illegible]俳句、[illegible]、外國人の俳句等の分類による諸説や、種々の[illegible]角、一茶、[illegible]に關する研究を收めた[illegible]（B6判三六三頁一・二〇、東京市[illegible]區[illegible]一ノ二三[illegible]）

愛の赤道（87）

竹田敏彥
鄙谷伸一畫

鬼　蕃（二）

その時、先頭を切つた上野氏は既に敵の機關銃座に突擊してゐた

そして、遂く米兵を相手に、阿修羅の如く[illegible]ばれ廻つてゐたが、見る間に二三名の敵を打ち倒して

[illegible]下つた。

「萬歲！」

と一聲、悲壯な叫びで機關銃に[illegible]つた。

克彥達が駈けつけたのは、その瞬間である。

米兵達は、容赦なく彼等を取巻いて、彈の雨を降らしてきた。

[illegible]る、[illegible]る、打つ——壯烈な死鬪が、あちこちに演ぜられた。

が、その時、既に狭戰車がもう門前に[illegible]けてゐた。

「……」

米兵達は、それを見ると、忽ち射擊を止めて、機關銃を[illegible]げて逃げ出した。

「えらいぞ…よくやつた」

彼等は戰車の先を越えて、火の玉のやうに敵に[illegible]していつた。

そして、やつと[illegible]後に逃げてゆく機關銃に追ひ付かうとした時間

タタタタタ——

これを見た前方の機關銃が、急に位置を定めて、こちらを掃射しはじめた。

「低い、頭を下げろ……」

誰かの注意に、一同は頭を下げて、繁草の中へ[illegible]めた。が、それと同時だつた。

「あッ……」

突然、異樣な呻き聲とともに、克彥より二三步前に進んでゐた上野氏が、急に[illegible]上にのめつた。

「隊長！」

一人の青年が駈け寄つた時には上野氏は日本刀を握つたまま、血に染んで斃れてゐた。

「隊長！」

先頭に飛込んできた敵軍の天幕が開いて、一人の將校が、[illegible]つと叫んだ。

「おお、隊長……」

上野氏は[illegible]つて、[illegible]軍に[illegible]つたが、

「同胞の仇討ですぞ、刀を、刀を貸してください」

「何、これか」

隊長は、何氣なく手に持つた日本刀を渡した。上野氏は受取るなり、

「さあ、皆來い、仇討だ……」

逃げだす敵の後を追つて、一散に駈け出した。克彥も、他の四五人とともに、その後に從つた。

あの一隊の連隊が、克彥の脳裡から消えなかつたのだ。

鬼畜のやうな米兵の暴虐！――たとへ、一人でも、この手で打ち殺してみたい――義憤の血が夢中に彼を驅つた。

青年は、上野氏を抱き上げたがもう顏色は土色だつた。そして、

「天皇陛下……バン……ザイ」

絞り出すやうな最後の絶叫とともに、上野氏の口は堅く結んでしまうた。

克彥も、すぐ上野氏の傍へ駈寄つたが、

「あッ……」

唸りを立てて飛んできた彈丸に、ひやりと眼先を覗されたやうに感じた。

「君、君……しつかり……」

誰か國かに耳もとで自分を呼んでゐるやうな氣がしたが、克彥の意識はぼんやりしてきて、その姿が、ばつと描かれた。

その時、もう味方の戰車は、彼等を驅して、その機關銃を蹂躪に踏み潰つてゐた。

本邦唯一
胃腸によい
イースト菌
胃腸病にリ……た時代もあつて……「イースト」……する事が……二個五回……
純粹培養

色白
ジュジュクリーム
これまでに色白に[illegible]
九五セン

消
耗性疾患に
結核
とビタミンB1との關係は最近頃に注目せられ、結核性疾患がV・B1缺乏素地の上に好發する事は諸大家の認めるところである。
V・B1の大量投與は結核菌毒素によつて惹起せる疲勞、倦怠感發熱、盜汗、速脈及び其の他胃腸障碍等を好轉せしめ、全身的狀態を改善せしめて生体の治癒力を增强す。
V・B1含有量一錠中〇・五瓱
大一〇〇錠　三〇〇錠
武田發賣品
强力メタボリン錠
2(1)428

胃腸病に
胃腸にしめてゐるだけで、[illegible]、保溫、刺戟の三大自然療法により、胃腸を根本から强化し、食慾を增進、消化吸收を完全にし、身體を根本から丈夫にするのが「小林式」腹帶の效果です。
慢性胃腸の人
胃腸下垂の人
胃酸過多の人
便秘不眠の人
血色の惡い人
產後病後の人
☆全國デパート・有名藥店にあり
圖圖
三番株式會社
東京市神田區須田町[illegible]
小林式健康帶

半煉
强い殺菌清掃力
不快な口臭・細菌・齒垢を除去して齒疾を防止する
優れた香味と感觸
溫雅清涼にて氣分一新！
仁丹
JINTAN'S
姉妹品
仁丹煉齒磨
仁丹粉齒磨
仁丹齒ブラシ
仁丹齒磨

寢る前に齒を磨かないで、氣持が惡くありませんか!!
ベイキンは夜中に繁殖して、齒を蝕し口を汚します。朝歯分がすぐれないこともいやうに夜寢る前の齒磨きを勵行しませう。
ライオン齒磨
ライオン齒磨本舖

地球印
蚊とり線香
アースー渦巻
キンメ
火持ち共に優秀！
これから暑さも嫌な蚊が出る時期に品
大日本除蟲菊株式會社